

令和 5 年 第 3 回 定例会

町 長 諸 般 報 告

阿 久 比 町

令和 5 年 9 月 6 日

令和５年第３回定例会の開会に当たり、諸議案並びに令和４年度各会計歳入歳出決算認定のご審議をお願いするに先立ちまして、町政の概要についてご報告を申し述べ、議員各位並びに町民の皆さまの深いご理解とご協力を賜りたいと思います。

はじめに、本町は今年町制７０周年を迎え、今日まで、「笑顔でかける未来」をテーマに、様々な記念事業を展開してきました。

どの事業も大盛況のもと実施できており、町民や各種団体の皆さま並びに株式会社デンソー様を始めとする企業各社の多大なるご協力に心より感謝申し上げます。

年度当初の４月に４年ぶりの開催となった「春だ！れんげだ！農業まつり」を皮切りに、５月に開催した「あぐい山車まつり」では、町指定文化財である勇壮な５台の山車が庁舎前に勢揃いし、各地区のお囃子やからくり、三番叟も披露されました。

６月の「花かつみまつり」では、徳川家康の生母、於大の方にゆかりのある花かつみの魅力を発信し、「花かつみお守り袋」の配布も行いました。

「田んぼアート」の田植え体験では、大人から子どもまで大勢の方にご参加いただき、複数色の古代米と「もち米」の稲でアグピースマイルを模りました。

7月には、町民の皆さまがつながる場となる「あぐいつながるフェスティバル」を開催し、猛暑の中にもかかわらず、多くの方々にご参加いただき、愛知県警察音楽隊がイベントを盛り上げてくれました。

8月の「あぐいふれあい盆踊りの夕べ・メモリアル花火」は、台風の影響により予定より1日遅らせての開催になりましたが、笑顔があふれ活気に満ちた盆踊りに加え壮大なスケールの花火が夏の夜空を彩りました。

このほかにも、多くの記念事業を実施しており、今後実施予定の事業もありますので、引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。

さて、スポーツの世界においては、今年は様々な競技の世界大会が行われています。

先日まで開催されていましたがサッカー女子ワールドカップでは、なでしこジャパンが準々決勝で惜しくも敗退しましたが、1次リーグを3連勝で勝ち抜き、決勝トーナメントの初戦も突破するなど、多くの感動と勇気を与えてくれました。

このサッカーを始めとして、スポーツで町を活性化するため、5月にF C刈谷を運営する三河ベイフットボールクラブ株式会社と「ホームタウンパートナーシップに関する連携協定」を締結しました。今後はF C刈谷と様々な場面において交流を図ってま

います。

スポーツを通じたまちづくりの拠点となる阿久比スポーツ村では、野球場、陸上競技場と交流センターを含めた全体の将来構想を策定し、ソフト面・ハード面の双方から「スポーツを通じて交流できる場所」を作り上げてまいります。

交流センターは、愛称募集を行い、249件の応募の中から愛称を「アグスポ」とすることを決定いたしました。

「アグスポ」は、温水プールとしてのオープンを見据えて温水設備を整え、多目的体育室のバスケットゴール等を改修し、現在クラブハウスにある事務所とトレーニング室を移転するなど、皆さまから親しまれ、末永く愛される施設となるよう整備を進めています。

さて、国内の経済見通しにつきましては、内閣府による7月の月例経済報告において、「景気は、緩やかに回復している」としており、個人消費や設備投資は持ち直しの動きを見せているものの、電気やガスといったエネルギー価格の高騰による影響は、家計にとって大きな懸念材料となっています。

このような状況を鑑み、個人消費の後押しによる更なる地域経済の活性化や生活支援のため、町商工

会と連携しながら「あぐい暮らし応援クーポン券」を町民の皆さまに配布させていただきます。町内全世帯に郵送させていただきます、11月から登録された町内店舗でご利用いただけるよう準備を進めています。

事業者向けの支援策としましては、依然として新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢の影響により配合飼料等の価格が高騰していることから、昨年度に引き続き町内の畜産事業者の高騰分の一部を支援いたします。

自然災害として、先月15日、紀伊半島に上陸したのち日本海に抜けた台風7号の影響で、東海、近畿、中国地方など広範囲で記録的な大雨となり、河川氾濫、道路橋梁の崩落、浸水や土砂流入など各地で甚大な被害が発生しました。

本町においても暴風警報が発表されたため、災害対策本部を設置して非常配備体制を整えました。

幸いにも本町は暴風域から外れていたため大きな被害もなく、避難所に避難された方もいませんでしたが、町内の至るところで竹や木が倒れて通行の支障となり、近隣市町では強風による転倒でけが人が出るなど、台風から離れている地域でも警戒が必要なことを改めて実感しました。

被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

それでは、ここから今年度の町政運営上の諸般についての報告をさせていただきます。

本年度は、「第6次阿久比町総合計画」の3年次として、計画に掲げる施策を目標に予算を編成しましたが、町制70周年という節目の年として、町民の皆さまと共に築いていく「夢ある未来へのまちづくり」について、主な事業の経過と結果を申し上げます。

子育て支援策としましては、4月から保護者の方の負担軽減のため町立保育園での使用済紙おむつの処分を開始しました。

また、今年度より子ども医療費の支給対象を入院に係る医療費助成について高校生年代まで拡大いたしますが、10月診療分から予定通り実施いたします。

阿久比駅周辺整備事業につきましては、現在調査業務を行っており、引き続き愛知県都市計画課「市町村まちづくり支援窓口」の助言・指導を受けながら、駅周辺の活性化を目指した土地利用について検討してまいります。

また、オアシス大橋東交差点から阿久比駅への渋滞対策としまして、駅の東側へアクセスできる新たな道路計画を検討しております。

新半田病院建設に伴う暫定道路の整備につきましては、愛知県や半田市、名古屋鉄道との協議に基づき、令和6年度末までに完了させるため、道路改良工事を分割発注して計画的に施行しています。

防犯対策としましては、特殊詐欺被害を未然に防ぐため65歳以上の一人暮らしの方または高齢者のみの世帯に対し、固定電話機に取り付け可能な簡易型自動録音機を無償配布し、8月末現在で155世帯の皆さまにご利用いただいております。

ここからは、本年度の各事業の現況について申し上げます。

まず、総務費関係でふるさと納税につきましては、寄附者の利便性向上に努めるとともに、魅力的な返礼品を提供し、寄附額の増加及び町税の流出抑制を図ってまいります。

人事関係につきましては、地方公務員の定年延長に向けた体制づくりを進め、研修や職員派遣などによる人材育成に努めてまいります。

選挙事務につきましては、４月２３日執行阿久比町議会議員一般選挙で、町民の代表としてご尽力いただく１４人の議員の皆さまが選出されました。

１１月３日には、文化の日の式典を開催します。

今年は、町制７０周年記念式典として多くの来賓をお招きする中で、「阿久比町平和のまち宣言」をお披露目し、平穏な日常がいつまでも続き、戦争やテロ行為などがなくなり、核兵器の廃絶が実現する世界の恒久平和を多くの皆さまと願いたいと考えています。

広報事業としましては、町の情報発信として重要な役割がある公式ホームページをシステム改修し、防災・行政ナビ「AguNavi(アグナビ)」と連携させ、デザインのリニューアルも進めています。

阿久比プレイガーデンプロジェクト事業では、本町を多くの人に、移住や定住の候補地としていただけるように、今年度も名鉄名古屋駅構内の大型ディスプレイを活用した、広告掲載を展開します。

また、町制７０周年記念事業などをドローンで撮影し、町内外に発信するためのＰＲ動画の制作や阿久比駅前看板のリニューアルなどのシティプロモーションを実施してまいります。

冒頭で述べたとおり、今年度は様々な町制 70 周年記念事業を実施しています。

今後、阿久比の歴史や魅力を伝える「阿久比の概観展」を開催するほか、町勢要覧の作成や記念映像の制作を進めます。

住民税 1 % 町民予算枠事業の「わくわくアイデア事業」は、「阿久比の昔話復刻事業」として、昭和 57 年に発刊された「阿久比の昔話」をデジタルブックで復刻します。また、「給食献立コンテンツ作成事業」として、おすすめの献立レシピを町ホームページで見られるようにコンテンツを作成します。

「わくわくコラボ事業」では、コロナ禍で自粛していた事業も含め 8 事業が展開されます。

交通安全対策につきましては、昨年の 10 月に交通死亡事故が発生し、交通死亡事故ゼロは、残念ながら 2, 172 日でストップしてしまいましたが、引き続き「歩行者優先のまち」を PR し、交通安全対策事業を実施してまいります。

自転車乗車用ヘルメットにつきましては、改正道路交通法の施行により今年 4 月から着用が努力義務となったことを受け、本町では、自転車乗車用ヘル

メット着用促進事業費補助金の予算を倍増しました。
8月末現在で86人の方から申請があり、昨年と同
時期と比較して2倍以上の申請をいただいています。

循環バスにつきましては、今年4月から8月の1
日平均で約185人の方に利用していただき、新型
コロナの影響で減少した利用者数も徐々に回復して
います。

次に、民生費関係でございます。

高齢者福祉につきましては、町制70周年記念事
業として、4年ぶりにコロナ禍前の規模に戻して開
催するみんなの敬老会やいきいきクラブの皆さまに
多目的広場へ桜の苗木を植樹していただくよう準備
を進めています。

低所得者等への支援としましては、令和4年度に
引き続き、エネルギー・食料品等の価格高騰による
負担増を踏まえ、住民税均等割非課税世帯等に対し
て、1世帯あたり3万円を支給する重点支援給付金
を8月から支給しています。

町立もちの木園におきましては、施設環境整備と
省エネ対策の一環として、老朽化した照明機器の
LED化改修工事を進めてまいります。

また、燃料価格や物価高騰の影響を受けている施設の指定管理者や放課後児童クラブ運営事業者に対して、電気料金等の補助を実施し、民間保育所等に対しましては、電気料金等に加え給食食材費等を補助します。

児童福祉関係につきましては、令和4年度に引き続き対象児童一人当たり5万円を支給する「子育て世帯生活支援特別給付金」を5月から支給しております。

保育園では、今年度より、医療的ケア児を受け入れるための拠点園とした英比保育園に、看護師2名を配置しました。

子育て支援センターでは、子どもの発達に関する相談が増えているため、今年度から臨床心理士を常勤として配置しました。

保健衛生関係につきましては、5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症になったことにより、法令に基づき行政が一律に要請・関与をしていた仕組みから、感染防止対策は個人の選択を尊重し、町民の皆さまの自主的な取組をベースとした対応に変わりました。

新型コロナウイルスワクチン接種に関しては、5月から春開始接種として重症化リスクの高い方や医療従事者などに対して実施し、現在は秋冬の追加接種の準備を進めています。

健康増進事業につきましては、若年がん患者在宅療養支援事業として、終末期の若年がん患者が自宅で療養生活を送る上で必要な在宅サービスなどに対する経済的負担を軽減するための補助制度を、7月から開始しました。

母子保健事業につきましては、視覚検査時に使用する屈折検査機器とプリンターを購入し、7月の3歳児健診からの使用開始により、精密検査が必要な子どもに対して早期の医療機関への受診につなげています。

オアシスセンターでは施設の長寿命化を図るため、空調設備機器の全館改修と非常用発電機を改修する工事を進めています。

ごみ関係につきましては、ごみの減量化を推進するため、今年5月から月2回の刈草・剪定枝の拠点回収を開始いたしましたが、皆さまからの多くの要望を受け、12月から3月についても、毎月1回拠

点回収を継続実施することといたしました。

6月からは、中身の見える透明又は半透明の袋によるプラスチック製品の一括回収を始め、資源としてリサイクルし、可燃ごみの減量化を推進しています。

同じ6月に、豊田通商・サントリーグループと、県内の町村では初めてとなる「ペットボトルの水平リサイクルに関する協定」を締結し、来年度から「ボトル to ボトル」の水平リサイクルを開始いたします。

環境保全につきましては、ほたる観察会、観賞会に多くの来場者の方に訪れていただき、特に白沢ホタルの里で同時開催された灯籠のライトアップが、SNSで拡散され、県外からも多くの来場者が集まり、期間中に1万人を超える来場がありました。

SNSの投稿は、トレンドがあつという間に拡散されることを改めて認識し、新たな「観光資源」として期待を寄せる一方で、周辺道路の渋滞などの課題も浮き彫りとなりましたので、来年度の開催に向けて関係団体と協議してまいります。

勤労福祉センターにつきましては、窓ガラスへの飛散防止フィルム設置や照明のLED化を進めるほか、屋上防水工事についても、早期に発注し、施設

利用者の安全と利便性の向上に努めてまいります。

農業委員会委員および農地利用最適化推進委員は、7月に改選が行われ、19名の新たな委員が選ばれ、農地法等に基づく審議のほか、農業振興の重要な役割を担っていただきます。

農業農村多面的機能支払交付金事業につきましては、新たに卯之山地区を加えた9地区での地域活動となり、農業・農村の有する多面的機能が今後も適切に維持・発揮されるよう支援してまいります。

宮津地区の土地改良事業につきましては、事業採択に向けて、引き続き、愛知県・地元準備委員会と協力して進めてまいります。

農業用施設につきましては、阿久比排水機場の更新整備事業は、早期完成を目指して、愛知県が整備を進めており、現排水機場につきましては、老朽化が進み、不具合が発生している排水ポンプ等の改修を進めています。

企業立地推進事業につきましては、企業立地の市場性等を確認する企業ヒアリングを進め、立地に向けた方向性を整理するとともに、開発適地の選定、

開発手法などの調査業務を進めてまいります。

公園整備事業につきましては、丸山公園のテニスコート西面の全面改修を完了し、現在、複合遊具の設置工事を進めております。

道路事業につきましては、新半田病院へのアクセス道路整備のため、島田橋の耐震設計や町道5045号線の道路改良工事を進めています。

愛知県が整備を進める都市計画道路につきましては、本町として名古屋半田線事業の進捗を見ながら、高根台から白沢地区へのアクセス道路について検討をしております。

矢高横川線につきましては、宮津の蟹田川の東側から半田市との市町境までについて、宮津土地改良事業と調整しながら検討を進めており、道路線形の変更について関係者説明会を実施しました。

環状線につきましては、早期に実現できる方法を検討するため、知多建設事務所、半田市と本町が一緒になって勉強会を実施しています。

町内の主要幹線道路につきましては、平成27年度に策定した「道路舗装修繕計画」を更新し、道路舗装の不良を計画的に改善してまいります。

次に消防防災関係につきましては、

令和２年４月より運用を開始した、防災・行政情報アプリ「A g u N a v i（アグナビ）」は８月末現在、５，６２０人の方にご登録をいただいております。

アグナビに追加した写真投稿機能につきましては、６月から一般の方も利用出来るようになり、災害時だけでなく、道路破損や交通安全に関するものなど、平常時にもご利用いただけます。

防災訓練につきましては、今年度から町と地域との合同防災訓練を実施する方針としており、１２月に草木地区と合同の訓練を実施する予定です。

昨年度に購入しました「トイレトレーラー」につきましては、各種イベントなどの会場で展示して災害時のトイレの重要性についてＰＲし、町消防操法大会では実際に仮設トイレとして利用しました。

消防団につきましては、全国的にも団員が減少しており、本町においても、今年４月には第４分団の団員がゼロとなり、休団状態となっています。

消防団は地域の消防・防災活動に必要な組織であり、今後も消防団員の確保と合わせ、団の再編成に

についても検討して参りますので、団員確保について、一層のご協力をお願いします。

次に学校教育関係につきましては、文部科学省が掲げるGIGAスクール構想を積極的に推し進めています。

施設整備では、中学校の生徒数増加に対応するため、今年度より新校舎の供用を開始し、3年生が使用しています。

ソフト面では、新たに指導主事を1名増員して2名体制としました。また、小学校教育相談員を1名増員して2名体制とし、中学校教育相談員の相談時間を増加させるなど、児童生徒とその保護者の抱える悩みに対して早期にきめ細かく対応しています。

幼保小中一貫教育プロジェクトにつきましては、コロナ禍において滞っていた連携や情報交換を積極的に再開し、継続すべき活動を推し進め、活動内容の見直しも図ります。

「英比小学校の子どもたちのため」とする匿名の寄付金を利用し、英比小学校を事務局として、11月にミャンマーの子どもたちを阿久比町へ招く国際

交流事業を行うほか、英比小学校中庭に、放課や集会で多目的に使えるコミュニケーションスペースを整備します。

学校給食センター「AGUMOGU（あぐもぐ）」では、給食における物価高騰による食材費の上昇分として、4月より給食費の10%相当分を町費負担で上乗せし、保護者の経済負担軽減と子どもたちに安全で安心できる給食の提供を行っています。

次に社会教育関係につきましては、学校部活動を地域クラブへ移行することにつきましては、10月より休日に指導者が整う部活動から、地域移行や地域連携ができるよう準備を進めています。

また、スポーツに関連する今後の町制70周年記念事業として、アスリートを招いて子どもたちに実技指導をしていただく「プロ・アマチュアスポーツ教室」、「阿久比スポーツフェスティバルレクリエーション大会」、「健康づくりマラソン大会」を開催していきます。

国民健康保険事業につきましては、4月からは出産育児一時金を40万8,000円から48万8,000円に引き上げました。

特定健康診査等事業につきましては、今年度から、心疾患の早期発見による健康寿命の延伸と将来的な医療費の抑制を図るため、心電図検査の対象者を拡充し、すべての健診受診者に検査を実施しております。

介護保険事業につきましては、これまで進めてきた地域包括ケアシステムの強化や地域共生社会の実現に取り組みながら制度の持続可能性を確保していくことができるよう、中長期的な視点に基づく第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の策定作業を進めています。

次に水道事業につきましては、県企業庁の広域調整池から本町の水道管に直接つなぐ、「直結配水」が来年度から実施できるよう配水本管を計画的に埋設し、災害時の安定供給に努めてまいります。

下水道事業につきましては、水道料金及び下水道使用料審議会を新たに設置し、適正な下水道使用料の在り方を審議していただき、経営の健全化に努めてまいります。

縷々報告させていただきましたように、今年度の諸般報告につきましては、町民の皆さまと共に築い

ていく「夢ある未来へのまちづくり」のための事業のほかは、町制70周年記念事業と新規事業に絞ったものとさせていただきましたが、他の住民サービスにつきましても、役場職員は、限られた人員、限られた財源の中で、最大限の効果を得られるよう邁進しておりますのでご理解頂きたいと存じます。

私はこれからも阿久比町長として、皆さまと共に「夢ある新しい阿久比町」を築くため、精一杯努めて参りますので、より一層のご理解とご協力をお願いします。

なお、今定例会におきましては、宣言、契約の締結、条例を始め各会計別の決算認定や補正予算など、多くの重要案件をご提案申し上げております。

議案の内容につきましては、議事の進行に従いましてご説明させていただきますので、よろしくご審議の上、適切なご議決を賜りますようお願い申し上げます、諸般報告とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。